



側弯症外来のご案内

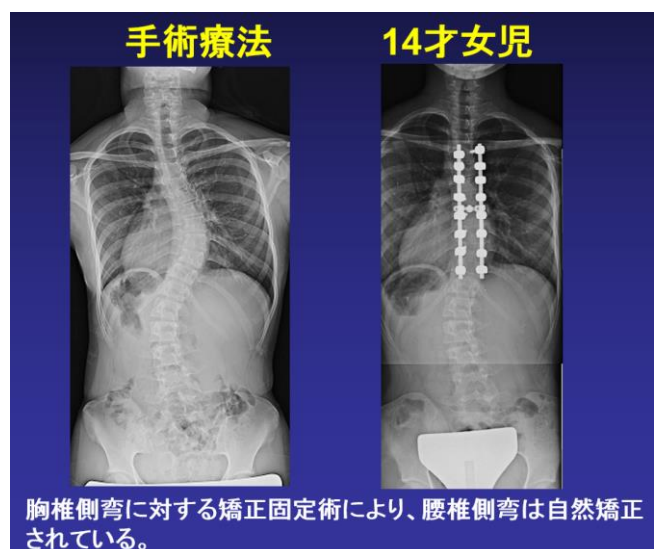
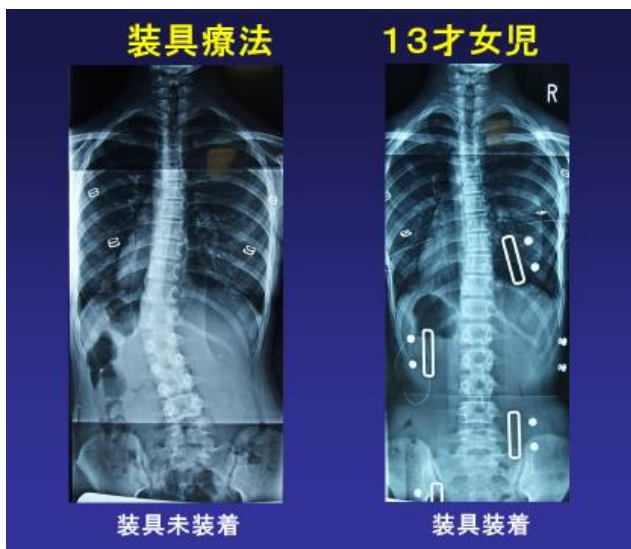
2018年9月より当院では脊柱側弯症外来を開設いたしましたのでお知らせいたします。当院を初診されました患者様には、スライド提示による側弯症の病態および自然経過、治療法の説明を詳細に行い、ご自身の側弯症がどのような状態であるかを、ご本人、親御様に十分ご理解していただけるよう心掛けております。患者様や親御様が側弯症の経過をご理解されますと、不安は解消され、前向きになられている様子も拝見いたします。軽度の側弯症患者様でも、責任をもって対応させていただきます。診察はけいゆう病院(横浜市)の常勤医で、側弯症専門医である**石川 雅之医師**が担当しております。

当院側弯症外来の治療方針

思春期脊柱側弯症の治療法として、装具療法と手術療法がございます。

装具療法は主に25度から40度の側弯症に対して、側弯の進行予防を目的として行っております。成長終了時に側弯を30度以下にコントロールできた場合、成人期以降に側弯が進行することは少ないと側弯症の自然経過により指摘されております。したがって、側弯を30度以下にコントロールすることを目標として、徹底した装具の調整、装具装着の指導を行っております。装着の状況にもよりますが、ある程度の矯正効果も得られております。

一方、さらに進行した側弯症に対しては手術療法が適応となります。**手術療法**では椎弓根スクリューを主なアンカーとした手術法により、良好な矯正効果が得られております。入院期間は2週間程度、術後の装具は不要と、患者様の負担も軽減しております。



担当医 石川雅之医師

◆プロフィール

1993年慶應義塾大学卒後、日本では側弯症治療の第一人者である鈴木信正先生、慶應義塾大学整形外科教授松本守雄先生に師事し、側弯症治療の研鑽を積んでまいりました。

米国留学中（Hospital for Special Surgery/Scoliosis Service、ニューヨーク州、2004-2005年）には、Dr. Boachie-Adjei（元 Scoliosis Research Society会長）のもとで様々な側弯症治療を経験いたし、診療に生かしてきました。

2018年3月までは、東京都港区の国際医療福祉大学三田病院に勤務しており、これまでに100例以上の特発性/先天性側弯症手術を執刀し、良好な手術成績を得ております。

側弯症外来

石川医師担当：土曜日（1.3.5W）
9：00～11：50

紹介初診 診療予約のご案内

1 医療機関からの紹介初診予約の場合

直通電話 **03-5748-5020**

牧田総合病院蒲田分院にご連絡ください。
予約希望日時をお伺いし、予約枠を確保いたします。
受付時間は、平日8：45～17：00、土曜 8.45～12：45 です。

2 患者さん又は親族の方から予約電話をされる場合

直通電話 **03-5748-5020**

患者さん又は親族の方から予約をされる場合には、医療機関から紹介状を
もらい 平日8：45～17：00、土曜 8.45～12：45 の間にご連絡ください。
紹介状が無い場合でもご予約いただけます。



牧田総合病院

〒144-0051 東京都大田区西蒲田4-22-1
蒲田分院 03(5748)5020
<http://www.makita-hosp.or.jp/kamata/>

